

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年9月30日

【評価実施概要】

事業所番号	0172901902		
法人名	有限会社 ころ		
事業所名	グループホーム ころ		
所在地	北海道旭川市亀吉2条2丁目3番地の5 (電話) 0166-29-1127		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年9月16日	評価確定日	平成21年10月16日

【情報提供票より】(平成21年8月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年10月12日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤	13人, 非常勤 7人, 常勤換算 12.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	12,900~18,900 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	450 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	0 円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要(8月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護1	3 名	要介護2	6 名		
要介護3	3 名	要介護4	4 名		
要介護5	2 名	要支援2			
年齢	平均 80 歳	最低	61 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	にしきまち通りCL クリア歯科CL
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

1階がグループホーム、2階が訪問看護ステーションと障害児デイサービスの2階建ての建物で敷地内の庭には、利用者が散歩の帰りに河川敷から持ち帰った石で花壇が作られています。常に利用者を中心に「楽しみごとは外にある」と考え、居酒屋や喫茶店等本人の馴染みの店や場所に出かけられるように個別に支援され、医療面も建物内の訪問看護事業所と協力医療機関の医師との連携が密に図られています。朝、晩には足浴を実施して清潔保持の他、心身をリラックスした中で利用者の希望や思いを傾聴し、把握する機会にしています。町内会の行事のひとつとして捉えられている「ころ祭」には、地域の方々、往診の医師・看護師、利用者、家族の方々が多数参加されています。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、運営推進会議の定期的な開催が挙げられていましたが、ホーム行事や研修会に合わせて開催するなど議題を工夫しながら取り組みを行い、定期的に開催してホームの運営に活かしています。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者及び職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解し、自己評価については全ての職員が参加して実施されており、ケアを振り返る機会と捉えサービスの質の向上に取り組んでいます。また、外部評価の結果については、周知して改善に向けて取り組んでいます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は定期的に開催されています。議題は、 年間行事計画について 利用者の普段の生活の様子について 「ころ祭」開催する旨の報告 ホーム行事での交流会 救急救命処置の講習会 など
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	来訪時に利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等、都度報告しており、定期的に発行する「ころ通信」でも情報提供されています。また、状態変化についても都度電話連絡などで詳細に報告しており、来訪時に、意見や不満、苦情を表しやすいようにゆったりとした対応を心掛け、出された意見はすぐに解決案を作成し結果を報告しています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	定期的に発行される「ころ通信」を町内会に配布して、認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。ラジオ体操や清掃活動、盆踊りなどの行事の参加や近隣住民や地域のボランティア、町内会役員が参加するホーム主催の「ころ祭」を通じて地元の人々との交流が図られています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、「私たちは常に利用者様を中心に考えます。」を事業所独自の理念として、法人代表及び職員個々に具体化した目標を設定し、それらを実現出来るように取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員は、朝礼時や毎月の全体会議の時に理念について話し合い、その達成に向けて取り組んでいる。また、ネームプレートに理念を記載して常時携帯し、その実践に向けて、日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	定期的発行される「ころ通信」を町内会に配布して、認知症に対する理解や広報に取り組んでいる。ラジオ体操や清掃活動、盆踊りなどの行事の参加や近隣住民や地域のボランティア、町内会役員が参加するホーム主催の「ころ祭」を通じて地元の人々との交流が促進されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者及び職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解し、自己評価については全ての職員が参加して実施されており、ケアを振り返る機会と捉えサービスの質の向上に取り組んでいる。また、外部評価の結果については、周知して改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催されている。委員は、利用者、家族、町内会役員、地域の住民、民生委員、他施設の知見を有する専門員、管理者・職員が参加して、ホーム行事や研修会に合わせて開催するなど工夫しながら取り組まれている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所は、市や包括支援センターとの連携の重要性を良く理解しており、消防署の協力を得て救急救命や火災避難訓練、警察の交通安全講習の実施など取り組んでいる。また、民生委員と連携して地域の高齢者への相談ごとなどにも積極的に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来訪時に利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等、その都度報告しており、定期的に発行する「こころ通信」でも情報提供されている。また、状態変化についても都度、電話連絡などで詳細に報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時に意見や不満、苦情を表しやすいようにゆったりとした対応を心掛けており、出された意見はすぐに解決案を作成し報告している。エントランスに意見箱が設置され苦情等表せる機会や第三者の苦情申立機関の連絡先が掲示されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の担当者を複数にして、特定の職員に依存しないようにチームケアを実践しており、利用者の介護計画や情報もミーティングや会議で職員全員が共有できるように取り組んでいる。また、退職した職員も必要時に気軽に来訪できる関係を構築している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の個人目標に応じて、計画的に外部研修に参加しており、北海道や旭川市が主催する研修会参加やグループホーム連絡協議会、ケア研究会主催の外部研修への参加を奨励している。また、認知症や介護に関する研修以外に、医療関係者が主催する研修会への参加も積極的に取り組んでいる。</p>		<p>運営者は理念の一つとして「質の良いサービスを提供できるよう学習・研修に積極的に参加し、自己啓発します。」と謳っており、外部研修やOJTも充実させて、職員全員に段階に応じた研修機会を作っている。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の同業者とは、グループホーム連絡協議会やケア研究会、地域のケアマネ会議で交流する機会を持ち、合同学習会や行事の催しを一緒に行ったり、実習の依頼や受け入れなどの活動を通じてサービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して、納得した上でサービスが利用できるように、利用前には利用者・家族との話し合いや見学などで場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。また、利用後も職員や他の利用者、場の雰囲気に徐徐に馴染めるよう必要に応じて職員の人数や配置も工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、利用者と食事の下ごしらえや畑作業、花の手入れなど、本人と一緒に過ごしなが、喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、利用者の気持ちになった支えあう関係を築いている。また、職員と利用者間だけではなく利用者同士も助け合い、支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの生活歴を踏まえ、本人や家族の意向・希望を把握し、日常の生活の中での表情や会話などで職員間で情報を共有している。買い物、散歩、外食、ドライブ等、本人の思いが実現出来るように支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、その人らしく暮らすための課題とケアのあり方について、利用者、家族の希望や医師・看護師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的なものとなっている。また、毎日のミーティングで日常生活の様子からの課題や問題点を見つけ出し検討している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い見直しが行われている。また、状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、要望に応じて、散歩や買い物、外食やドライブ、通院など柔軟に支援を行っており、医師の往診や看護師の定期的な訪問など医療面でも支援されている。また、併設されている障がい児デイサービスの子供たちとの交流も行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科医、看護師や歯科医などの往診で気軽に相談できる医師が確保されており、利用者、家族の希望や要望に応じて適切な医療が受けられるよう支援されている。また、体調の変化に応じて主治医以外の他科受診もスムーズに受診出来るように取り組んでいる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、看護師・医師と連携して利用者・家族と話し合いながら慎重に対応するよう職員間で共有されている。また、段階に応じて本人、家族の意思の確認やキーパーソン以外の親族へも同意を得られるように取り組んでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した言葉かけや対応が行われている。また、記録等の個人情報の扱いについても、個人情報保護法に配慮した取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝・晩の足浴の際にリラックスした中でコミュニケーションをとりながら利用者の希望や思いを把握している。希望を表せない方については、表情や仕草から把握に努めて、日常生活での会話や行動から希望に沿った生活が送れるよう取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるよう、利用者の希望や季節の食材を取り入れ献立に反映させており、利用者と職員と一緒に準備や食事、配膳など本人の希望や力量に応じて支援している。また、利用者の体調や気分に応じて個別に居酒屋やラーメン屋、喫茶店など外食を楽しめるように支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日を決めずに利用者の希望や思いを大切に柔軟に対応しており、ゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。また、今年は温泉に行くことも計画している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりのペースを大切にして個別に畑作業、掃除、除雪、散歩や買い物など本人の希望に沿って一緒に行っている。また、利用者がやらされている感覚にならないように声かけやタイミングを工夫し、利用者から教わり、一緒に考える場面を作っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望に沿って、日常の散歩や買い物の同行や居酒屋や喫茶店など本人の馴染みの店や場所に出かけられるよう支援している。また、地域の催し物やお祭りなどは数人単位で外出できるように取り組んでいる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、利用者の外出傾向を職員間で把握され、戸外に出る時は遠くで見守りしたり一緒に同行するなど抑圧感を与えないように支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者を設置し、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練を年2回実施されている。また、救急救命訓練が実施され、緊急時対応マニュアルと緊急連絡網も整備されている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう具体的な水分・食事摂取量が把握されている。また、栄養補助食品の活用や食器の工夫、体調に合わせた食事の提供など利用者の状態変化に応じた工夫がなされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>庭には利用者が散歩の帰りに河川敷から持ち帰った石で花壇が作られ、東屋では外気浴を楽しんだり景色を楽しめるように工夫がされている。居間の椅子やテーブル、ソファでは一人になったり、談笑や横になれるスペースが確保されている。また、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、使い慣れた家具や手作りの作品、家族の写真などが飾られて、身体の状態に応じて安全面に配慮しながら家具の配置をし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。